

# 平成27年度富士見市一般会計予算（概要）

～「魅力と賑わいのある暮らしやすいまちづくり」を目指して～

## 1 予算概要

### (1) 予算編成概要

平成27年度予算は、「バランスのとれた魅力あるまちづくり」を更に推進するため、これまで進めてきた子育て支援策や各種福祉施策、市民参加・協働の取組み、防災力の向上や都市基盤整備などの施策について引き続き積極的に予算化を図ることで、「魅力と賑わいのある暮らしやすいまちづくり」を目指した予算を編成した。

### (2) 予算規模

平成27年度一般会計の歳入歳出総額は、324億6,080万2千円（前年度比1,178万9千円の増）となり、過去2番目に大きな予算規模となった。これは、子育て支援策をはじめとした社会保障費や学校大規模改修等の施設長寿命化経費の増加などによるものである。

なお、歳入については、市税等について十分精査するとともに、国県支出金の活用や公共施設整備基金をはじめとした各種基金の繰入れを行い、歳出については、第5次総合計画に基づき事業の選択と集中を図るとともに、特定規模電気事業者（PPS）からの電力購入や照明機器のLED化による電気料金の削減など行財政改革に努めたものである。

## 2 歳入予算の主な特徴

### (1) 市税

市税の総額は、140億9,979万2千円（前年度比663万8千円の増）となり、過去最大の税収規模となった。これは、これまで積極的に進めてきた都市基盤整備をはじめとした新たなまちづくりの取組みの成果が現れたものである。

個人市民税は、納税義務者数は伸びるものの普通徴収から特別徴収への切替えの影響などにより、前年度比1,114万円の減となった。

法人市民税は、法人税割の税率引下げの影響などにより、前年度比4,014万5千円の減となった。

固定資産税は、評価替えによる影響のほか家屋の新築棟数の増加などにより、前年度比6,706万8千円の増となった。

都市計画税は、固定資産税と同様の理由により、前年度比2,285万1千円の増となった。

市たばこ税は、売り渡し本数の減少を見込み、前年度比3,728万6千円の減となった。

## (2) 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、消費税率8%への引上げによる影響の平年度化に伴い、13億9,000万円と見込み、前年度比5億1,700万円の増、率にして59.2%の増となった。このうち社会保障財源化分は6億5,200万円である。

[資料] 別紙「平成27年度予算に係る地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策に要する経費について」

## (3) 地方交付税

地方交付税の総額は、34億円と見込み、前年度比1億円の減、率にして2.9%の減となった。

普通交付税は、地方財政計画を踏まえて32億円と見込み、前年度比1億円の減、特別交付税は、これまでの交付状況を考慮し、前年度同額の2億円と見込んだ。

[参考] 平成26年度普通交付税額(調整戻し後)：33億8,669万3千円

## (4) 国庫支出金

国庫支出金は、55億9,336万2千円となり、前年度比2億5,627万3千円の減、率にして4.4%の減となった。

主な要因としては、ピアザ☆ふじみなどの整備に係る都市再生整備計画事業費交付金が前年度比2億7,036万円の減となった。

## (5) 県支出金

県支出金は、19億3,232万2千円となり、前年度比1億5,119万5千円の減、率にして7.3%の減となった。

主な要因としては、民間保育所などの施設整備に係る埼玉県子育て支援特別対策事業費補助金が前年度比2億7,779万4千円の減となった。

## (6) 繰入金

繰入金は、12億810万1千円となり、前年度比1億4,284万9千円の増、率にして13.4%の増となっている。

財政調整基金繰入金は、9億5,102万7千円となり、前年度比4,927万6千円の増となった。

緑地保全基金繰入金は、緑の散歩道「関沢」の用地取得のため、9,507万円を繰り入れた。

公共施設整備基金繰入金は、山室集会所の建替えをはじめ公共施設整備や改修のため、1億5,570万円を繰り入れた。

[参考] 財政調整基金残高見込み 平成26年度末：21億7,973万8千円

平成27年度末：14億8,121万6千円

## (7) 市債

市債は、27億3,540万円となり、前年度比1億8,990万円の増、率にして7.5%の増となっている。

防災行政無線整備事業債は1億4,860万円、住宅市街地総合整備事業債は2億3,040万円、小・中・特別支援学校に係る学校施設整備事業債は4億2,830万円とした。

また、臨時財政対策債は、地方財政計画を踏まえて14億円と見込み、前年度比1億円の減とした。

〔参考〕一般会計市債残高見込み 平成26年度末：207億1,305万9千円

平成27年度末：212億4,261万6千円

\*平成27年度末見込みには、平成26年度繰越明許費に係る市債を含む。

## 3 歳出予算の主な特徴

〔資料〕別紙「平成27年度当初予算の主要事業」

### (1) 第5次基本構想中期基本計画の推進

基本構想に定めた将来都市像の実現に向け、中期基本計画に掲げた各施策に重点的に予算配分した。

#### 【主な施策】

#### ①「子育てするなら富士見市で」施策の更なる推進

ア 民間保育所への施設整備補助 1億8,717万2千円

- ・ふじみ野駅東口地区に平成28年4月開設予定の民間保育所に対して施設整備費を補助(定員90人・子育て支援センターを併設)

イ 放課後児童クラブの施設整備 1億6,498万2千円

- ・鶴瀬第2・第3放課後児童クラブの施設整備(学校の3教室を改修)
- ・水谷第2・第3放課後児童クラブの施設整備(学校敷地内へ整備)
- ・勝瀬第2放課後児童クラブの施設整備(学校敷地内へ整備)

ウ ピアザ☆ふじみ内にふじみ野児童館を開設 1,964万8千円(指定管理料)

- ・平成27年5月に開設予定

#### ②子どもの体験活動の充実

ア 子ども文化芸術大学ふじみの開校 25万円

- ・演劇・音楽・古典芸能等に関わる芸術家を講師として、子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を創出する「子ども文化芸術大学ふじみ」を開校する。

イ 子ども大学ふじみの継続開催 34万円

- ・子どもの学ぶ力や生きる力を育むため、大学・地域団体・企業等と連携し、「子ども大学ふじみ」を継続開催する。

ウ 子どもスポーツ大学ふじみの継続開催 27万円

- ・プロや社会人のスポーツ選手等を講師として、「心」「技」「体」を学びながら子どもの健全な発達を促す「子どもスポーツ大学ふじみ」を継続開催する。

### ③いじめ防止対策の推進

ア いじめ防止条例に基づく各種附属機関の設置 42万9千円

[市長部局へ設置]

- ・いじめ調査委員会（いじめによる重大事態への対処等）
- ・いじめ問題対策連絡協議会（いじめ防止に係る団体等の連携・調整等）

[教育委員会へ設置]

- ・いじめのない学校づくり委員会（いじめによる重大事態への対処等）

イ いじめ防止対策事業協力者認定制度の創設 31万2千円

- ・いじめ防止活動に取り組む市内の事業者や各種団体に対し、いじめ防止対策事業協力者認定制度を創設する。

ウ いじめのない学校づくり子ども会議の開催 14万5千円

- ・いじめに対する市内各小中学校の取組みを紹介する子ども会議を開催し、いじめのない学校づくりに向けた児童生徒の意識の醸成を図る。

エ ピア・サポート事業の推進 24万円

- ・子ども同士が互いに支え合う人間関係の充実や対人関係能力の向上を図ることで、いじめの未然防止を図る。

### ④健康長寿施策の推進

ア 健康増進計画の策定 291万8千円

- ・市民参加により健康増進計画を策定する。

イ スポーツ推進計画の策定 14万8千円

- ・市民参加によりスポーツ推進計画を策定する。

ウ ピアザ☆ふじみ内の食育推進室を活用した食育の推進 85万9千円

- ・平成27年5月開設予定のピアザ☆ふじみ内の食育推進室を活用して、女子栄養大学や市内飲食店などと連携・協力のもと、各種食育推進事業を行う。

### ⑤高齢者福祉の充実

・介護保険特別会計への繰出金 8億6,169万1千円

- ・高齢者あんしん相談センターの職員体制の強化(3人→4人/箇所)などに伴い、特別会計への繰出金を増額する。

### ⑥障がい者福祉の充実

ア 災害時要援護者用防災用品の整備 41万7千円

- ・障がいのある方向けに緊急連絡先や支援内容を記入できる ヘルプカードを配布するとともに、聴覚障がいのある方には障がいがあることを周囲に知らせるバンドナを配布する。

イ 放課後等デイサービス施設への施設整備補助 644万7千円

- ・市内の社会福祉法人が富士見特別支援学校敷地内に整備する放課後等デイサービス施設に対して施設整備費を補助(定員20人)

⑦生活困窮者対策の充実

ア 自立相談支援を行う「生活サポートセンター富士見」を開設 1,791万円

- ・生活困窮者に対し、就労その他の自立に向けた相談支援等を行うため、社会福祉協議会へ委託し「生活サポートセンター富士見」を開設する。

イ 生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」を実施 947万9千円

- ・生活困窮家庭の子どもに対し、学習教室を委託により開催することで学力の向上や高等学校進学への動機付けを行う。

⑧市民参加・協働の推進

ア 協働事業提案制度の創設 18万9千円

- ・市民等からの提案を契機として、地域課題や地域住民ニーズの効果的な解決を図るため協働事業提案制度を創設する。

イ 地域まちづくり協議会への支援充実 118万3千円

- ・地域まちづくり協議会の組織化への取組みを推進するとともに、地域まちづくり協議会が行う各種事業に対しての助成金を創設する。

ウ 山室集会所の建替え 5,027万6千円

- ・老朽化、狭隘化した山室集会所の建替え工事を実施する。

⑨文化芸術の創造

ア 小学校合唱部への指導者派遣 48万円

- ・市内6小学校にある合唱部に対して、声楽の専門家等を派遣し各合唱部の活性化と水準の向上を図る。

イ 市民向けコンサートの開催 33万6千円

- ・市民向けに、陸上自衛隊第一音楽隊によるコンサート及び公益財団法人三井住友海上文化財団によるコンサートを開催する。

⑩産業の振興

ア 高齢者世帯向け宅配電話帳の作成・配布 ゼロ予算事業

- ・高齢者の買い物支援策として、富士見市商工会と連携して宅配電話帳を作成し高齢者世帯へ配布する。

イ 地域特産物加工品の開発 50万円

- ・女子栄養大学と連携して地元農産物を使用した加工品を開発し、市内の製造販売店において商品として販売を行っていく。

ウ 親子ふれあい農業体験の開催 39万8千円

- ・市内農業者等の協力のもと、親子を対象とした野菜等の収穫体験を行うとともに、体験農園を行う農業者に対して看板などの費用の一部を助成する。

#### ⑪公園整備と緑地保全の推進

ア 南むさしの公園の整備 8,230万円

- ・市民協働により公園の設計を進めてきた「南むさしの公園」(ふじみ野西3丁目地内)の整備を行う。

イ 緑の散歩道の用地取得 9,507万円

- ・緑地保全のため緑の散歩道「関沢」(関沢3丁目地内)の用地を取得する。

ウ 宮下ちびっこ広場の用地取得 7,720万6千円

- ・地域の大切な憩いの場である「宮下ちびっこ広場」の用地を取得する。

#### ⑫都市基盤整備の推進

・鶴瀬駅東西口土地区画整理事業の推進

- ・土地区画整理事業の推進・早期完了を目指し、特別会計へ繰出金を支出する。

(ア) 鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計への繰出金 3億5,282万1千円

(イ) 鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金 2億6,535万円

#### ⑬道路整備と浸水対策の推進

ア 老朽化した道路附属物(道路標識・反射鏡・照明灯)の更新 1,988万円

- ・道路附属物の総点検結果に基づき、老朽化した道路附属物の更新を行う。

イ 幹線道路の整備 1億7,092万円

- ・市道第5210号線(鶴瀬駅西口)や市道第5101号線(大字勝瀬地内)などの幹線道路の整備を行う。

ウ 住宅市街地総合整備事業の推進 4億9,670万円

- ・市道第904号線(鶴瀬西3丁目地内)の道路整備を行う。

エ 生活道路の整備 1億2,185万円

- ・市民生活に密着した各地域の生活道路の整備を行う。

オ 尺地排水機場のポンプ増設工事 9,200万円

- ・尺地堀の排水能力の増強を図るため、尺地排水機場(大字上南畑地内)のポンプを増設する。

#### ⑭行政サービスの充実

ア ピアザ☆ふじみ内へふじみ野出張所を移転

- ・ふじみ野出張所をふじみ野駅構内からピアザ☆ふじみ内に移転し、今まで扱っていなかった収納や異動事務を取り扱うことで市民サービスの向上を図る。

イ 公共施設予約システムの導入 271万6千円

- ・公民館など19公共施設の貸し出しにあたって、インターネットを活用し施設の空き状況の確認や仮予約ができる公共施設予約システムの導入を図る。

## (2) 市民生活の安心安全を高める施策の推進

防災対策をはじめとして、市民が安心して生活することができるよう各種施策の推進を図る。

### ①防災行政無線のデジタル化の推進 2億1,742万円

- ・防災行政無線のデジタル化を図るとともに、併せて難聴地域の解消を図る。

#### (ア)同報系のデジタル化(1億1,732万円)

- ・屋外設置のスピーカーによる同報系のデジタル化を2カ年の継続費で実施する。(継続費総額:2億9,540万円)

#### (イ)移動系のデジタル化(1億10万円)

- ・携帯型や車載型による移動系のデジタル化を図る。(単年度事業)

### ②富士見市総合防災訓練の実施 298万5千円

- ・市民、自主防災組織、企業、消防組合、消防団及び市による総合防災訓練を実施する。

### ③自主防災組織の育成支援 530万円

- ・地域の自主防災組織の育成支援を継続するとともに、新たに小学校区を単位とした自主防災連絡会に対して助成を行う。

### ④学校施設の非構造部材の耐震化の推進 2億5,950万円

ア 南畑小学校ランチルームの天井落下防止対策の実施(大規模改修工事に合わせて実施)

イ ふじみ野小学校屋内運動場の天井落下防止対策の実施

ウ 富士見特別支援学校屋内プールの天井落下防止対策の実施

### ⑤歩道の整備推進

- ・市道第1195号線(水谷東2丁目外)の歩道整備 2,250万円

### ⑥駅ホーム内方線付き点状ブロックの整備 933万3千円

- ・ふじみ野駅ホームに内方線付き点状ブロックを整備するため、施工者である鉄道事業者の工事費の一部を負担する。

## (3) その他事業

### ①社会保障・税番号制度へ対応するためのシステム改修等(15業務)

1億5,690万8千円

### ②市民総合体育館復旧計画の検討 100万円

### ③臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の給付 1億5,396万6千円

## 4 主な行財政改革の取組み

### (1) 自主財源の確保

- ①まちづくり寄附の納付方法にクレジット払いを導入
- ②庁舎案内板等広告掲載料 78万円
- ③総合的窓口モニター広告掲載料 96万円
- ④市ホームページバナー広告掲載料 312万円
- ⑤公共施設への飲料水自動販売機設置貸付料 697万7千円
- ⑥市封筒広告料収入 36万円

### (2) 照明機器のLED化による電気料金の削減

- ①庁舎事務室等の室内照明のLED化による電気料金の減 約△150万円
- ②商店会街路灯のLED化による電灯料補助金の減 約△240万円

### (3) PPS(特定規模電気事業者)の導入による効果 東京電力比 約△2,500万円 ・37の公共施設にPPSを継続導入し電気料金の削減を図る。

### (4) 補助金執行の適正化に向けた取組みの推進

- ・外部有識者等の助言を受けながら、補助金執行に係るガイドラインを作成し、市補助金執行の適正化を図る。



■平成27年度一般会計予算款別一覧

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
款 名 称	本年度予算額	対前年度増減額	款 名 称	本年度予算額	対前年度増減額
市 税	14,099,792	6,638	議会費	269,302	8,778
地方譲与税	178,000	△10,000	総務費	3,748,985	△1,107,804
利子割交付金	26,000	△4,000	民生費	15,786,090	505,990
配当割交付金	70,000	△3,000	衛生費	1,921,596	81,170
株式等譲渡所得割交付金	34,000	23,000	労働費	8,544	△1,627
地方消費税交付金	1,390,000	517,000	農林水産業費	111,564	△8,334
ゴルフ場利用税交付金	2,000	0	商工費	57,742	△7,318
自動車取得税交付金	43,000	6,000	土木費	3,814,683	△15,407
地方特例交付金	84,000	△4,000	消防費	1,152,990	8,560
地方交付税	3,400,000	△100,000	教育費	3,019,812	639,235
交通安全対策特別交付金	10,000	△3,000	災害復旧費	1	0
分担金及び負担金	629,552	36,643	公債費	2,519,493	△91,454
使用料及び手数料	300,878	5,993	予備費	50,000	0
国庫支出金	5,593,362	△256,273			
県支出金	1,932,322	△151,195			
財産収入	18,102	△17,430			
寄附金	12,320	3,100			
繰入金	1,208,101	142,849			
繰越金	250,000	0			
諸収入	443,973	△370,436			
市 債	2,735,400	189,900			
合 計	32,460,802	11,789	合 計	32,460,802	11,789